

## 報 告 書

学校法人東洋学園 近畿情報高等専修学校において、下記日時に「学校評価協議会」を開催いたしました。協議会では、意見交流を行い以下の意見と評価がありましたことを報告いたします。今後は、このご意見を受け止め、より良い学校運営と教育活動になりますよう改善に努めてまいります。

- 1 目 的
  - ・学校教育自己診断アンケート調査結果の客観性、透明性を図る。
  - ・学校家庭地域が共通理解を持ちその連携協力により学校運営の改善にあたる。
- 2 日 時 令和3年 10月15日（金） 18:00～19:00
- 3 場 所 近畿情報高等専修学校 図書室

学校評価協議会委員名簿（順不同）

職 名	所 属
学校長	学校法人田島学園 近畿社会福祉専門学校
学校長	枚方市立渚西中学校
代表取締役社長	株式会社 三共プラス
課長代理	学校法人大阪国際学園本部事務局入試広報部
主任	株式会社 JTB 教育旅行大阪支店 主任
会 長	近畿情報高等専修学校 同窓会

## 学校評価協議会会議報告

1 開 会 令和3年 10月15日（金） 18時に開会しました。

2 校長挨拶

開会の挨拶を本校校長 小寺 克一が行いました。

3 学校評価協議会の役割と運営について 副校長南より

学校評価協議会の役割と運営についての説明を行いました。

4 学校関係者及び学校評価協議委員の紹介 教頭高島より

本校関係者7名及び学校評価協議委員の紹介を行いました。

5 学校評価協議会

議案1 本年度の取り組みについて 副校長南より

生徒の学力向上に向けて、土曜講座の充実。テキストに「マナトレ」を活用。

小論文講座の開講5年目。2年・3年の生徒が受講。令和2年度は29名

教員の育成に向けて、授業力向上委員会の活性化、新任・若手教員研修の定例化と人材育成研修の充実。

教員が、タブレットを活用した授業を行っている。

新型コロナウイルス感染症対策として、教員向けリモート授業研修の実施。

教員による日々の校内消毒。

取りやめとなった行事はあるが、できる限り生徒の喜ぶ行事の実現。

修学旅行は延期を決定し、来年度の5月に実施を予定。

議案2 生徒の状況について 各部長より

教務部長 西垣、生徒指導部長 飯田、進路指導部長 鈴木が令和2年度の各報告を行いました。

議案3 令和2年度学校教育自己アンケート調査結果について

昨年度のアンケートについての改善への取り組みとして

生徒アンケートNo26の項目の改善を図り、今年度については新しい行事として第1回近畿情報スポーツ大会を実施致しました。中身においても通常の体育行事と異なり、生徒がより楽しむ中で取り組み、成長につながることを目標に実施いたしました。

### 【意見交流】

[生徒アンケート結果について]

・No3. 9の項目について

学校での生活を通じて3年間での成長を感じることができる。

・No6の項目について

このコロナ禍で先生方の努力が数字にあらわれていると思う。

- ・No17.19の項目について  
将来のことについても不安を感じることなく学校生活がおくれているようである。
- ・No27の項目について  
クラブ活動についての項目だが、各学年とも上がるにつれて改善しているのは良い。
- ・No28の項目について  
コロナ感染対策の問題もありますが、できるだけ生徒会やクラブ活動を行っていただきたい。
- ・学校を上げて学力向上に取り組んでいることがアンケートに反映されているように思います。
- ・最近の若い方はスマートフォンを見ている時間が長く、コミュニケーション能力が低下しているように思う。感染リスクを避けることを実施していくとコミュニケーションを図る機会が余計に減ってしまう。難しい状況下ではあるが、様々な工夫の中でより良い成果を期待したい。

#### [教職員アンケート結果について]

- ・No10の項目について  
約85%と高い数値になっている。生徒を細かくみていく上で良い傾向だと思う。
- ・No31の項目について  
この項目についての改善は具体的なアプローチが難しいように思う。
- ・No13.27の項目について  
どちらのアンケート内容にも「工夫」・「改善」というワードが入っている点が興味深い。
- ・先生方が生徒のため、保護者のために取り組んでいる様子が垣間見える。働き方改革が叫ばれる中、生徒一人一人に向き合い努力されていると思う。
- ・教職員の連携・コミュニケーションが向上しているように読み取れる。但し、コロナ感染問題によって様々な制約が発生して、益々多忙になっていると思う。その中で生徒の不安やストレスに、どのように向き合い、対処するのが大きな課題だと思う。

#### [保護者アンケート結果について]

- ・全体的に保護者アンケートの満足度の高さに驚いた。
- ・No1の項目について  
29.7%であるが、学年が上がるにつれてA+Bが増えているので問題はないように思う。  
学校に対して不満があるわけではないが、子どもが学校に行くのが楽しくなってほしいと思っている保護者がおられるのではないかと。学校行事や取り組みを生徒の目線で考えていければ今以上の満足度をあげていけるように思う。
- ・コロナ感染という大問題の中、素晴らしい評価だと思う。コロナに関する保護者の考え方も様々であることに加えて、コロナによって家庭の環境が大きく変わっている（在宅勤務・時差出勤・退職など）ことが想像され、難しい状況になっている。

#### 【意見交流総括】

昨年は特別な状況下ではあったが概ね肯定的な評価を得られている。しかし項目によっては、より一層の取り組みを考えていく必要がある。生徒一人ひとりの成長発達が確実に進み、様々

な教育活動の成果が上がるよう諸条件を整備し運営していくことが重要である。コロナ感染の問題もあるが、生徒の不安やストレスに向き合い、安心して学校生活をおくることができるよう模索していく。行事についても感染症対策をしっかりと行った上で実施していきたい。そして生徒の学力習得だけではなく、生きていくために必要な力を育成するため、教師の人間力・そして指導力向上への取り組みを継続する。

## 6 校長閉会の挨拶

現在生徒が人間的に成長してもらうために必要なことの一つとして興味のあること、好きなことで「わからないこと」は「わかる」まで追求させる。このような環境が大事だと考えます。自発的に追求していく姿勢が今の時代必要なのだと思います。私たちの学校もこのようなところを目指していきたいと考えています。

コミュニケーション能力や対人関係については地域とのつながりがこれまで重要な役割を果たしてきたと思います。そして地域とのつながりを持つためには日本の伝統文化を知ることでも大事だと考えます。年齢差の様々な相手とのコミュニケーション能力もそういった場で養われてきたことがあると思います。生徒のことを思ったとき、このような地域とのつながりがしっかり機能してほしいと思います。そして本校においてもこのような部分の一端を担っていきたいと思っています。

本日いただきましたご意見を受け止め、本校の学校運営に活かしてまいりたいと思います。